(別紙様式７）

**２０２１年度　北極域研究共同推進拠点　産学官連携支援事業**

**産学官連携フィージビリティ・スタディ　共同研究****(新規・継続)計画申請書**

研究課題名：

研究期間：2021年度

【共同研究員】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属・職名 | 専門分野 | 役割分担 |
| 研究代表者(拠点内外)(注1) |  |  |  |  |
| 研究分担者（拠点外）(注1) |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 研究分担者（拠点内）(注1) |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 研究協力者(拠点内外) (注1) |  |  |  |  |

(注1) 拠点内外については、別添の北極域研究共同推進拠点を形成する３研究施設の研究者リストをご覧ください。

研究概要について、研究目的、計画、期待される効果等を具体的・簡潔に記載して下さい。また、研究成果の確認･発表の場を設けていただくのが好ましいです。

記載欄は適宜広げて頂いて構いません。本様式は、7ページ以内に収めてください。

【研究の目的】

【研究計画】

【期待される効果】

【前年度以前に本拠点の公募型共同研究に研究代表者として応募された場合】

1. 直近の取組の概要と本申請内容との関連性・相違点等について記入してください。
2. これまでの本拠点の公募型共同研究成果が活かされ、科研費応募やプロジェクトあるいは企業からの資金提供による共同取組など発展した事例があれば併せて記入してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ・プロジェクト名・代表者(所属)・予定の場合は、(予定)と記載してください | ・プロジェクトの主な財源・金額 | プロジェクト期間 | ・プロジェクトの内容(目的・期待効果など)・これまでの本共同研究との関連性(300字程度) |
| 記入例・北極海の急激な海氷減少によるアイスアルジーの影響・代表者:北極太郎(国立極地研究所) | 科学研究費補助金基盤研究(A)〇〇千円 | 令和元年～4年 | 本拠点の共同研究集会(平成29年～令和元年)の枠組みで実施した北極海の海洋海氷研究で議論した海面海底に生息するアイスアルジーに着目し、・・・・・ |
|  |  |  |
|  |  |  |

【コロナ禍の影響について】

2020年度計画申請書申請者については、共同研究へのコロナ禍の影響と対策(改善・代替策、計画変更、工夫等)、助成金執行率(%)について記述してください。(ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。)

|  |  |
| --- | --- |
| 2020年度影響の事象 | 対策の有無と内容(改善・代替策、計画変更、工夫等) |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 2020年度助成金執行率　(%) |  |

【所要経費】

経費合計

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 旅費（千円未満切上） | その他（千円未満切上） | 備考 |
| 2021年度 | 千円 | 千円 |  |
|  |  |  |  |

2021年度所要経費内訳

|  |
| --- |
| 旅費 |
| 旅行区間（時期） | 日数 | 回数 | 金額（千円未満切上） |
|  |  |  | 千円 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合計 | 千円 |
| その他に必要とする経費（人件費及び設備備品費は不可） |
| その他費目 | 必要な理由 | 単価 | 数量 | 金額（千円未満切上） |
|  |  |  |  | 千円 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合計 | 千円 |

|  |
| --- |
| 承　諾　書当機関に所属する上記の研究代表者が、北極域研究共同推進拠点が公募する産学官連携フィージビリティ・スタディに申請すること及び採択された場合に当該研究を行うことを承諾します。　　年　　月　　日所属機関長の職　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職印　　 |

※承諾者は権限を有していれば、部局長等でも構いません。